

## 平成26年度菊川地区まちづくり集会開催記録（概要）

◎日 時 平成26年8月23日（土）10:00～12:00

◎場 所 菊川総合支所 第1会議室

◎出席団体数 21団体

菊川自治会連合会、豊東地区自治連合会、檜崎地区自治連合会、菊川中学校PTA、檜崎小学校PTA、菊川地区婦人会、下関市商工会、下関市老人クラブ連合会菊川支部、菊川スポーツ振興会、菊川地区民生児童委員協議会、下関市消防団菊川方面隊、菊川地区子ども会連合会、菊川町女性団体連絡協議会、菊川地区保健推進委員会、貴和の里につどう会、菊川町観光協会、菊キクネット、菊川放課後子ども教室、菊川町すぎの子母親クラブ、菊川町ボランティア連絡協議会、保護司会豊浦東支部

◎市出席者 市長 中尾友昭

総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫

総合政策部地域支援課課長：阿部恒信、課長補佐：安田成興

主任：齋藤浩三

菊川総合支所長：山田恭之 菊川総合支所地域政策課課長：稲田浩宣

◎傍聴者 15名

◎次第

1	開 会	10:00
2	市長講話（私が考えるあらたなまちづくり）	10:00～
3	あらたなまちづくりに関する意見交換	10:15～
4	下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案） 及び全体スケジュールの説明	10:30～
5	推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換	11:10～
6	閉 会	12:00

◎まちづくり集会開催の目的

住民自治によるまちづくりを推進するため、その基本となるまちづくり推進計画の策定等に関し、広く地域住民の意見を聴取する場として、それぞれの地域において「まちづくり集会」を開催します。併せて、それぞれの地域における住民等のまちづくり活動に対する機運の醸成を図ることを目的としています。

◎まちづくり集会開催

開式のことば  
出席者紹介



◎市長講話

私が考えるあらたなまちづくり  
～別紙：市長講話の概要参照～

◎あらたなまちづくりに関する意見交換

参加者 元気が出るまちづくりは、ネーミングが良い。元気が出るということは、皆が参加するまちづくりと思う。菊川町は、是非、取り組むべきと意を強くした。女性や、子供、障害の方も参加して欲しい。

今後、組織づくりを進めるにあたって、他市においても取り組んでいる、下関市立大学との連携を図りたいため、市長からもお願いしてもらいたい。

市長 市立大学は、新しく公共マネジメント学科をつくった。皆さんと交流しながら実地研修の勉強をしてもらうなど、開かれた大学として活用されたい。

参加者 高齢化が大きな課題だが、市と社会福祉協議会の関係について聞きたい。

市長 市は、社会福祉協議会の運営補助をしている。色々な事業をしており、まずまず、市との連携が強くなる。市としては大事な組織である。

参加者 社会福祉協議会でボランティア祭りを実施しているが、市からも参加をいただき、地域との関係を見てもらいたい。

参加者 少子・高齢化が進み、農業維持が大変である。商工会も脱退者が多く、また、自治会も崩壊するため、よく政策を考えてもらいたい。

市長 耕作放棄地が増え、また、獣害も増え悪循環である。豊田のジビエセンターや、道の駅への野菜出荷等、大きな儲けはないが、老後の生きがいや健康維持の一助となっている。また、米を食べないため需要が減っている。地域の課題を皆さんで担っていただきたい。

◎下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案）及び全体スケジュールの説明

～別紙：説明概要及び説明資料参照～

◎推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換

参加者 機運醸成のための啓蒙については、市から説明をお願いできるのか。アドバイザー的存在がいつ決まるのか。立ち上げから同じアドバイザーの方がスムーズに進む。

市担当 サポート職員は27年4月から始まる。26年度は、地域支援課で対応する。各地区で推進計画素案に対する意見を聞き、パブリックコメントを経て策定をする。継続して同じ職員は難しい。

参加者 新たな組織が担うものには、ハード面、ソフト面がある。今まで行政との関わ

- りの中で、文化、観光、スポーツ分野があったが、その関係はどうなるのか。
- 市担当 基本的に、ハードは行政が行う分野。ソフトについても、本来、行政がやるべきものもあるが、職員が深く関わっていた事業があれば、整理する必要がある。イベント等、行政が地域にお願いして実施している事業は、本来、行政がやるべきことであるため、変わらない。
- 参加者 地区が主体的に実施し、行政がサポートをしていた事業を、新たな組織に移行した後も必要に応じてサポートしたい。
- 市担当 新たな組織が何を担うのかわからない。
- 市担当 市が行う業務の丸投げという危惧を持っている地区もあるが、新たなまちづくりは、既存の組織活動も後継者問題でうまくいっていないであろう、情報共有等、横の連携は思うようにいっていない地区が多いと認識しており、後継者の育成、お互いの協力、そのために情報共有すべき等、補完性を持ちながら、協力して活動できる体制が構築できないかということで、行政がやるべきことを皆さんに押し付けるものではない。
- 参加者 まちづくり集会の参加者が、準備会のメンバーとなるのか。
- 市担当 今後、地域で協議をしていただく。今日の説明で、組織の立上げ等が決定するものではない。今日の参加者は、菊川を代表する組織と認識しているが、もっと多くの方に知らせる必要がある。
- 参加者 各地区で推進計画素案に対する意見を聞き、パブリックコメントを経て策定をする。組織立ち上げは、早くて1月と考えているが、早く取り組まれる際は相談願いたい。
- 市担当 平成26年度中に立ち上げるという意味ではないです。